

SSEダッシュボードでのセキュアアクセス保護のステータス表示の不整合

内容

[お問い合わせ内容](#)

[環境](#)

[解決策](#)

[確認手順](#)

[追加の診断収集](#)

[原因](#)

[関連コンテンツ](#)

- [お問い合わせ内容](#)
 - [環境](#)
 - [解決策](#)
 - [確認手順](#)
 - [追加の診断収集](#)
 - [原因](#)
 - [関連コンテンツ](#)
-

お問い合わせ内容

Cisco Secure Clientを使用しているエンドポイントでは、エンドポイントがDNSおよびWebトラフィックをアクティブに生成している間でも、Cisco Secure Access SSEダッシュボードに誤ったDNSおよびSWG保護ステータスが断続的に表示されます。保護ステータスインジケータが一定しない場合は、次の組み合わせが表示されます。

- DNSとSWGの両方の保護ステータスが「N/A」（ - 記号 ）と表示される
- 一方の保護ステータスは「N/A」と表示され、もう一方は正常と表示される
- 両方のステータスが「Offline」と表示される
- 一方のステータスは「Offline」、もう一方のステータスは「N/A」と表示されます。

これらのステータス表示は不正確に表示され、デバイスの実際の動作ステータスおよびそれらに対して実行されているシスコサービスと一致しません。これにより、エンドポイントのセキュリ

ティカバレッジの可視性が低下し、組織のデバイス全体で保護ステータスを確実に監視する機能が影響を受けます。

環境

- シスコセキュアアクセス(SSE)管理ポータル
- エンドポイントに導入されたCisco Secure Client
- エージェントとサービスがインストールされ、実行されている複数の組織デバイス
- DNSおよびSWG保護サービスの構成

解決策

DNSおよびWEB保護のステータスを正確に確認する推奨方法は、個々のデバイスに表示される保護ステータスインジケータだけに依存するのではなく、SSEダッシュボードのアクティビティ検索機能を使用することです。

確認手順

追加の診断収集

一貫性のない保護ステータスインジケータが引き続き問題を引き起こす場合は、次の同期された診断出力を収集します。

- Web/DNS保護ステータスとシステムクロックタイムスタンプが表示されたCisco Secure Clientのスクリーンショット
- システムクロックタイムスタンプによる保護ステータスを示すセキュアアクセスダッシュボードのスクリーンショット
- 該当するエンドポイントから収集されたDART(Diagnostic and Reporting Tool)出力

これらの同期診断は、実際の保護状態をダッシュボード表示に関連付け、タイミングまたは同期の問題を特定するのに役立ちます。

原因

SSEダッシュボードに表示される保護ステータスの不整合の根本原因は、予期される動作として特定されました。この問題は、実際の保護サービス機能ではなく、ダッシュボードステータスインジケータの同期に関連していると考えられます。アクティビティ検索にDNSおよびWEBアクティビティが含まれていると、矛盾したステータスが表示されても保護サービスが正常に動作していることを確認できます。

この動作は、ステータスインジケータの信頼性を将来的に強化する可能性を求める機能の要求として文書化されています。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。